



上山小学校「風のたより」

令和7年2月13日（木） 校長 有谷孝彦



学校経営目標：ふるさとを愛し、
自らの未来を切り拓く児童を育成する



「しあわせ」とは・・・

20年ほど前に、5年間離島勤務をしておりました。離島勤務は、ズボラな単身赴任者としては食事や洗濯など大変ではあるのですが、多くのことを吸収できるまたとない機会でもありました。毎夜繰り広げられる炭鉱マンとの会議（宴席）に強制的にお呼ばれたことや冬の夜に警報級の風の音が「ピューー」と絶え間なく聞こえてきて寂しくなることもありましたが、自分の心と向き合ったり、季節を体感したり、今の季節であれば水仙や白いオキザリスの花が通りに咲き誇っていたり、そこでしか味わえない経験をたくさんしました。疑似体験ではなく、本物の体験をすることはしっかりと脳裏に焼き付き記憶として残っていきます。本拠地を離れての苦しい生活ではありましたが本当に行ってよかったです。今、人生の後半を迎えましたがまだ道半ばです。宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」の一節「何がしあわせかわからないです。本当にどんなに辛いことでも、それが正しい道を進む中の出来事なら峠の上りも下りもみんな本当のしあわせにつづくひと足ずつですから・・・」を想起します。しあわせに向かって。

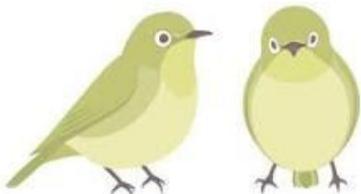


春の朝

金子みすゞ

すずめがなくな、
いいひよりだな、
うっとり、うっとり
ねむいな。

上のまぶたはあこうか、
下のまぶたはまアだよ、
うっとり、うっとり
ねむいな。



いつかきっと・・・

いつから始めたのか、どのような目的で始めたのかは明確に覚えてはいませんが、2月8日に17回目の献血をしました。世のため人のためになるように始めたのは間違いないのですが、自分の血液の入れ替えにもなるという不届きな考えもあったように記憶しています。献血をしたくてもできない方がいらっしゃることは存じ上げていますが、去年は3回チャレンジして、心拍数が多いとか血圧がどうだとかの理由でアクエリアスを飲んだだけで断念していました。今回は見事検査をクリアし献血を行うことができました。以前の学校だよりで「見返りを求めていますか？」と皆さんに問うたことがありました。献血したからご褒美が欲しいとかは1mmも思いませんが、いつかきっといいことがあるような気がしています。まずは20回献血が目標です。(*^*)



成長しましたね！

「コンコンコン」校長室の廊下側の入口のドアを誰かがノックします。遠慮がちに、そして恐る恐るドアが10cmほど開き、小さな瞳が私を見つめています。「誰かな？」と思いつつドアに近寄ってみると小さなお客さんでした。1年生が国語科の学習の一環で先生方にインタビューを試みておりました。私のところに来た1年生は、しっかりとあいさつをして、何のために校長室を訪れたのか、質問に答えてくれるかどうかの確認、一人一つずつの質問をしてしっかりとメモを取っていました。質問を終えるとホッとした表情で「ありがとうございました。」とお礼を言うとニコニコスマイルで帰って行きました。練習してきた成果を発揮できましたね！小さな成功（失敗も含みます）体験を重ねて成長していくのですね。(*^*)



☆上山小のHPもご覧ください。学校だより（表）の2次元コードをご利用ください。